

“点群データ”と“設計データ”を3D空間で合成し完成形を的確にイメージ

トレンドコア トレンジコア ブイアール
「TREND-CORE」・「TREND-CORE VR」

2018年秋、新バージョンリリース

福井コンピュータ株式会社

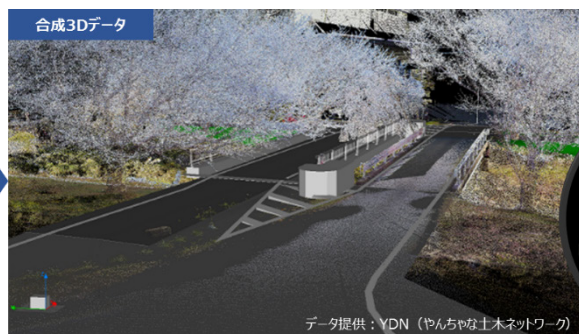
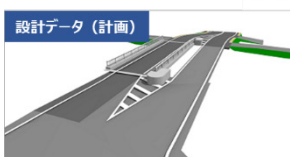
建設業向けのトータルCADメーカー、福井コンピュータ株式会社(本社:福井県坂井市、代表取締役社長:杉田 直)は、現況の“点群データ”と計画の“設計データ”を3D空間で立体的に合成させ、工事の完成形を的確にイメージすることができるCIMコミュニケーションシステム「TREND-CORE」と、これをVRで体験することができる建設バーチャルリアリティシステム「TREND-CORE VR」について、それぞれ新バージョンを今秋リリースします。

新バージョンの概要

弊社では、UAVによる測量の一般化により急速に普及が進む点群データを、建設工事の業務フローの中で有効活用するための取組みを行っております。

今回、3Dによる設計データを作成する「TREND-CORE」に、点群データ(現況)を取込み、合成できる機能を新たに開発しました。これにより、施工プロセスや工事完成イメージを3D空間上で確認できるようになり、設計段階や工事着手前における問題点の確認や、完成イメージの把握が簡単に行えるようになります。

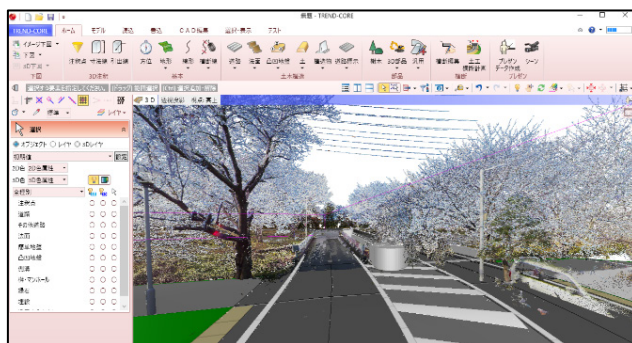
また「TREND-CORE VR」でも同様の対応を図っており、圧倒的な没入感で空間イメージを体感できるため、社内における工事シミュレーションや地元説明会などで、より具体的な検討や提案が可能になります。



データ提供: YDN (やんちゃな土木ネットワーク)

【TREND-CORE】点群データを取込み、施工における 3D モデル作成の生産性向上を実現

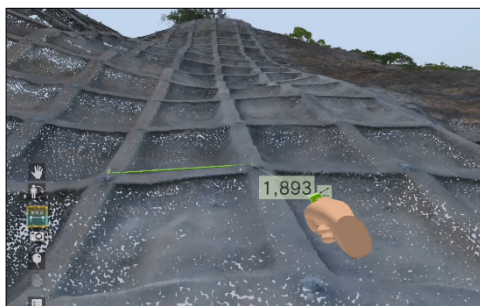
- 点群データと計画モデルを合成し、既設構造物との干渉や景観への影響などを確認できます。
- 点群データをスナップしてのモデル入力や計測が可能です。これにより計測結果に基づいた 3D モデルの構築が、より正確かつ効率的に行えます。



※画面は開発中のプログラムです。リリース時に変更になる場合があります。
※点群を利用するためには、GPU 専用メモリーを搭載したグラフィックボードが必要です

【TREND-CORE VR】点群データを VR で再現し、リアルな仮想現実を体感

- 起工測量や進捗管理に使用する点群データをそのまま活用することにより、周辺状況を再現するためのモデリングが不要となり、手軽に VR が実現できます。
- 確認できない高所の出来栄や埋め戻し前の状況も点群データを利用し、バーチャル空間でいつでも再現・確認が可能となります。
- 従来の HTC 社製 VIVE (VIVE Pro) に加え、安価な WindowsMR (Windows Mixed Reality) ヘッドセットに対応します。



●危険な急傾斜地を VR で計測ができる



●点群利用により、既設構造物のモデリング

※データ提供：YDN (やんちゃな土木ネットワーク)

■ リリース日：2018 年秋を予定

◇ このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータ株式会社 営業部営業推進課

Tel : 0776-67-8860 福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6

ホームページ : <https://const.fukuicompu.co.jp/>